

カリキュラムマップ:

経済学研究科 経済学専攻 博士課程前期課程 (公共政策学専修コース) (2022年度)

			ディプロマ・ポリシー		
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感
(知識)公共政策および関連する専門領域において、課題を発見し、解決するために必要な幅広い知識を修得している。 (技能)公共政策に関連した特定の課題について調査研究を推進するために必要な技能を修得していることはもちろんのこと、自ら主体的に計画を立案し、場合によっては関係者と折衝し、実行する能力を持っている。また、公共政策に関して解決すべき課題に直面した際には、課題の性質に応じて単独で、あるいは研究グループを統率して調査分析にあたり、その結果を求められたタイミングと方法で提示することができる。			(判断力)現代社会における公共政策に関連した多様な諸問題について、理論的枠組みに基づき、公平・公正な立場から多角的かつ批判的に分析することができる。 (思考力)分析を通じて得られた知見は、広い視野に立脚した新規性・独創性のあるものであり、論理的な思考・判断に基づき結論が導かれている。 (表現力)理論的貢献や政策的含意を結論に至るまでの確に表現し、学術論文・報告書・口頭発表・講演などのかたちで明確にプレゼンテーションする能力をもつ。自らの調査研究成果を発表する際には、受け手とのコミュニケーションを通じてニーズや関心に耳を傾け、解説する方法や使用する用語を柔軟に使い分けることができる。		(建学の精神)国内外の政治経済情勢について関心と問題意識を持ち続けるにあたっては、国際的な感覚を身につけ、国際社会や地域社会における多様性を尊重し、受容性と親和性をもって東西文化への理解や多文化共生を実践する。 (教育の理念)多角的な視点から課題の発見と問題の解決に取り組む。これを通じて、自らの研鑽の成果を生かす研究者・専門的職業人として指導的・先導的な役割を果たし、積極的に公共政策に関連する諸問題を解決するために尽力することができる。 (態度)研究者・専門的職業人として規律を守り、倫理観、品位、責任、社会的弱者や異なる文化に対する理解と寛容を保持できる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP3(1)
1	文献調査研究	前期	講義	○	○	○
2	経済学研究指導Ⅰ(経済政策)	通年	演習	○	○	○
3	経済学研究指導Ⅰ(金融)	通年	演習	○	○	○
4	経済学研究指導Ⅱ(経済政策)	通年	演習	○	○	○
5	経済学研究指導Ⅱ(金融)	通年	演習	○	○	○
6	理論経済学ABC(マクロ経済学)	通年	講義	○	○	○
7	理論経済学ABC(ミクロ経済学)	通年	講義	○	○	○
8	理論経済学ABC(計量経済学)	通年	講義	○	○	○
9	理論経済学ABC(上級ミクロ経済学)	通年	講義	○	○	○
10	理論経済学ABC(上級マクロ経済学)	通年	講義	○	○	○
11	理論経済学ABC(上級計量経済学)	通年	講義	○	○	○
12	経済史AB(日本経済史)	通年	講義	○	○	○
13	経済史AB(西洋経済史)	通年	講義	○	○	○
14	応用経済学ABC(公共経済学)	通年	講義	○	○	○
15	応用経済学ABC(交通経済)	通年	講義	○	○	○
16	応用経済学ABC(国際経済)	通年	講義	○	○	○
17	応用経済学ABC(国際関係論)	通年	講義	○	○	○
18	応用経済学ABC(日本経済論)	通年	講義	○	○	○
19	応用経済学ABC(アメリカ経済論)	通年	講義	○	○	○
20	応用経済学ABC(金融)	通年	講義	○	○	○
21	応用経済学ABC(国際金融)	通年	講義	○	○	○
22	応用経済学ABC(ゲーム理論)	通年	講義	○	○	○
23	応用経済学ABC(財政)	通年	講義	○	○	○
24	応用経済学ABC(経済数学)	通年	講義	○	○	○
25	応用経済学ABC(社会保障)	通年	講義	○	○	○
26	経済学特殊講義AB(政治学総合研究)	通年	講義	○	○	○
27	政治学特殊講義	通年	講義	○	○	○
28	行政学特殊講義	通年	講義	○	○	○
29	現代地方政治特殊講義	通年	講義	○	○	○
30	英書講読A	前期	講義	○	○	○

カリキュラムマップ:

経済学研究科 経済学専攻 博士課程前期課程 (公共政策学専修コース) (2022年度)

			ディプロマ・ポリシー		
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感
(知識)公共政策および関連する専門領域において、課題を発見し、解決するために必要な幅広い知識を修得している。 (技能)公共政策に関連した特定の課題について調査研究を推進するために必要な技能を修得していることはもちろんのこと、自ら主体的に計画を立案し、場合によっては関係者と折衝し、実行する能力を持っている。また、公共政策に関して解決すべき課題に直面した際には、課題の性質に応じて単独で、あるいは研究グループを統率して調査分析にあたり、その結果を求められたタイミングと方法で提示することができる。			(判断力)現代社会における公共政策に関連した多様な諸問題について、理論的枠組みに基づき、公平・公正な立場から多角的かつ批判的に分析することができる。 (思考力)分析を通じて得られた知見は、広い視野に立脚した新規性・独創性のあるものであり、論理的な思考・判断に基づき結論が導かれている。 (表現力)理論的貢献や政策的含意を結論に至るまでの確に表現し、学術論文・報告書・口頭発表・講演などのかたちで明確にプレゼンテーションする能力をもつ。自らの調査研究成果を発表する際には、受け手とのコミュニケーションを通じてニーズや関心に耳を傾け、解説する方法や使用する用語を柔軟に使い分けることができる。		(建学の精神)国内外の政治経済情勢について関心と問題意識を持ち続けるにあたっては、国際的な感覚を身につけ、国際社会や地域社会における多様性を尊重し、受容性と親和性をもって東西文化への理解や多文化共生を実践する。 (教育の理念)多角的な視点から課題の発見と問題の解決に取り組む。これを通じて、自らの研鑽の成果を生かす研究者・専門的職業人として指導的・先導的な役割を果たし、積極的に公共政策に関連する諸問題を解決するために尽力することができる。 (態度)研究者・専門的職業人として規律を守り、倫理観、品位、責任、社会的弱者や異なる文化に対する理解と寛容を保持できる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP3(1)
31	英書講読B	後期	講義	○	○	○
32	経済学研究指導Ⅰ(消費者政策・法制)	通年	演習	○	○	
33	経済学研究指導Ⅱ(消費者政策・法制)	通年	演習	○	○	
34	理論経済学A B C(経済学総合研究)	通年	講義	○	○	○
35	応用経済学ABC(中国経済論)	通年	講義	○	○	○
36	経済学特殊講義AB(租税法)	通年	講義		○	○
37	経済学特殊講義AB(消費者政策・法制)	通年	講義		○	○
38	外国文献研究A B(英語A)	前期	講義		○	○
39	外国文献研究A B(英語B)	後期	講義		○	○
40	外国文献研究A B(日本語A)	前期	講義		○	○
41	外国文献研究A B(日本語B)	後期	講義		○	○
42	政治過程論特殊講義	通年	講義		○	○
43	公共政策論特殊講義	通年	講義		○	○